

VUCAの時代

新型コロナウイルス感染症が、五月八日より二類から五類に移行され、感染症対策に大きな転換を迎えました。ここ数年定着していた「新しい生活様式」に、この変更が加わることでさらなる未経験の生活様式になっていくものと考えられます。

さて、そんな中、近年よく目にする言葉に「VUCA（ブーカ）の時代」があります。「VUCAの時代」とは、将来を予測するのが困難な状態を示す言葉で、これまでの常識を覆すような社会変化が次々と起こる時代という意味で使われます。例えば、スマートフォンの登場により、多くの人々がデジタルデバイスを個人で所有するようになったことで、社会全体のデジタルシフトが一気に進みました。このような変化は既存の常識の延長線上にない場合も多く、人々の生活様式を一変させてしまうことがあります。自ずと価値観にも影響が及び、従前のそれを瞬く間に陳腐化させてしまうことも想像に難くありません。

因みにVUCAとは、以下の四つの単語の頭文字を取った言葉です。

V=Volatility（変動性） U=Uncertainty（不確実性）
C=Complexity（複雑性） A=Ambiguity（曖昧性）

2010年代に一般に広まったVUCAですが、元々はアメリカの軍事用語でした。冷戦の終結とともに国家間の問題が複雑さを増し、軍事戦略を立てることが難しくなったこと、テロの驚異という新たな戦いが始まったことなど、従来のやり方が通用しなくなった状況を指していました。その後、一般社会においても、従来の常識が通用しない大きな変化が起きはじめたことから、VUCAは一般的にも使われるようになります。

新型コロナウイルスによる世界的なパンデミックといった一筋縄では解決・対応できない問題や、事前に対策を講じることができない問題が発生し、さらにはその影響が多方面に波及していく……。これが「VUCAの時代」の大きな特徴です。

中央高校夜間定時制は、個々人に合わせて柔軟に対応できる、多様性に富んだ優れた学びのシステムを有しています。本校で真摯かつ地道に学んでいくことで、激動の時代「VUCAの時代」を生き抜く力を養えると確信しています。

皆さんにとって有意義な夏休みとなることと、9月1日に、健康で体調を整えて全員が顔を合わせることができるようことを切に願っています。

名古屋市立中央高等学校
校長 山口大二